

学校だより



令和5年3月1日
尼崎市立園田小学校
校長 永所 孝章

ともに育てる — 思いよ 届け! —

HPへ ⇒



早いもので卒業まで学校に登校する日が14日となりました。小学校6年間、様々な環境の中で子どもたちは成長してきたことと思います。お家で、学校で、地域でだんだんと行動範囲が広がっていき、様々な人と交流し、自分で考え行動することができるようになってきたのではないのでしょうか。

先日、6年生の国語の授業を参観しました。教材文は、鴻上尚史さんの【大切な人と深くつながるために】でした。その中の段落⑦を紹介します。

あなたはどうか。人と会話する時間は増えていますか。減っていますか。本当に自分の言いたいことを言い、本当にしたいことをしようと思ったら、あなたは人とぶつかります。それが、あなたがあなたの人生を生きるということです。そういうときは、悲しむのではなく、「コミュニケーションの練習をしている」と思ってください。最初は苦しいですが、だいじょうぶ。スポーツと同じで、やればやるだけまちがいなく上達します。そうして、あなたは大切な人と出会い、深くつながっていくのです。



1年生に
掃除の仕方を教える6年生

今年度の本校のテーマは「結び合うそのだ」でした。6年生は、1年生とたくさん接する機会を持ち、1年生の成長を見守ってくれました。その中で、1年生の気持ちを理解しながら関わることの難しさ・大切さを学んだことでしょう。関わる中で、自分の思い描いたとおりにいかないことも多々あったと思います。1番年下である1年生に優しく粘り強く関わってくれたことは、これからの園小を支える人を育てることにもつながっています。また、この6年間仲間と過ごす中で、ぶつかる場面も多々あったと思います。そんな時、学校に行くのが嫌だと思った時もあったでしょう。それでも、その都度、自分の感情を整理しながら6年間を過ごしてきたことは、これからの人生を歩んでいく上で大切であるコミュニケーション力を培ったにちがいません。

急速に変化していく社会の中で、これからの子どもたちには人の気持ちや立場を尊重しながら、自分で自分をコントロールできる力が求められています。



6年生の演奏を聴く1年生(2月)

学校教育は、教科指導において各教科の認識力を高め、またまわりの人との関わりを通して人格を形成していきます。初めて学習することや学校行事を通して、子どもたちは未知であるものに出会ったり、仲間とともに学んだりして心を成長させます。体育大会での団体演技のソーラン節では、はじめはなかなかうまくできなかつたかもしれないけれども粘り強く練習することで、本番は凛々しく踊る姿を披露してくれました。また、音楽会においても、安定した音色にするためにそれぞれが一生懸命に練習し、心をひとつに素晴らしいハーモニーを聴かせてくれました。悩みながらもそういった成功体験を味わいながら、一步一步心も体も成長させてきました。

6年生のみなさん、卒業おめでとう！この1年、あなたたちは学校の顔として、お兄さん・お姉さんとして、園田小学校を支え未来につなぐ活躍でした。卒業生の背中を見てきた後輩た

ちは来年度必ずや園小を盛り上げてくれることでしょう。 中学に行っても、目の前にはだかる壁をなんとかして乗り越えながら、粘り強く、自分の人生を歩むことを望んでいます。

これまで本校教育活動にご理解・ご協力をいただき、子どもたちをあたたかく見守っていただいた保護者の皆様・地域の皆様、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

園田小学校を支えていただいている皆様！

PTA 執行部のみなさん！



保護者の代表として、板倉会長をはじめ、PTA の執行部の皆様、一年間子どもたちのために、学校教育活動を支えていただき、ありがとうございました。

そのだ



子どもを真ん中にして

子ども見守りネットのみなさん！

瀬戸さん・堀江さんをはじめ、多くの地域の皆様が雨の日も風の日も夏の暑い日も、いつも子どもたちの登下校の安全を見守っていただいています。また、下校時の急な雨に備え、学校に傘も贈呈してくれています。



コミュニティスクール

学校運営協議会のみなさん！

Happy 応援 Net!

地域コーディネーターの和田さんが中心となって、学校教育活動の様々なところでお手伝いをいただいています。



プールの監視



下校の見送り

この他にもたくさん！

消防団のみなさん！

学校開放の川端委員長をはじめ、第2・第5分団の消防団のみなさんが子どもたちのために運動場の整備を定期的にしてきています！



来年度はプール清掃も。

学校評議員のみなさん！



いつも学校の取り組みについて、ご意見をいただき、学校の教育活動を支えていただいています。

左から吉野さん・須佐美さん・杉原さん

この他にも図書ボランティアの皆様・子ども食堂の皆様など、地域の多くの方に園田小学校は支えていただいています。

ぶらっと そのだ ⑥

高須賀先生による 校区の歴史探訪(最終回)

「歴史は生きているー世紀の大発見ー」

ぶらっとそのだ⑥を作成中に大ニュースが飛び込んできた。急きょ内容を変更する。奈良市にある日本最大・最古の円墳(直径109m) 富雄丸山古墳から金属工芸の高技術をほどこした日本初の盾(たて)の形をした『銅鏡』(全長64cm、幅31cm)と、高鑄造技術による日本最大・最古の『蛇行剣』(237cm)が発掘されたのである。これは、4世紀後半のもので、女王卑弥呼のあと邪馬台国がヤマト王権に発展するまでの『空白の4世紀』を埋める貴重な発見となるようだ。佐賀県吉野ヶ里遺跡に押されぎみの邪馬台国九州説が畿内説に大きく傾くきっかけになるかもしれない。すると、卑弥呼も私たちの近くにいたのではとロマンも膨らむ。歴史はまだまだ発見され、塗り替えられていく。タイムマシンの旅は続く。



盾形銅鏡



蛇行剣



邪馬台国女王「卑弥呼」
もし、こんな鏡があったら！

地区バスケットボール大会 男子優勝！

2月3日(金)に園田地区バスケットボール大会が園和小学校でありました。本校代表として、男子は6年2組、女子は6年3組が出場しました。女子は惜しくも1回戦で敗れましたが、男子は見事優勝を果たしました。男女ともに一人ひとりが活躍し、クラスが一丸となった素晴らしい大会でした。



6年生を送る会 — 在校生みんなで、卒業式！(3月1日) —



3月20日の卒業式には、在校生は参加することができません。そこで、これまでお世話になった6年生にお祝いと感謝を伝えるため、全校生で6年生を送る会(子どもたちの卒業式)をしました。各学年からは、心のこもった手作りのものや歌などのプレゼントがありました。6年生今までありがとう！中学に行っても頑張ってくださいね。

3 月 行 事 予 定					
1	水	6年生を送る会	16	木	給食最終日 13:30 下校
3	金	すぎのお別れ遠足	17	金	4時間目後下校
7	火	ありがとう集会・朝会	20	月	卒業証書授与式（1～5年は休業日）
10	金	すぎのこ卒業を祝う会 短縮時間割	22	水	4時間目後下校
13	月	13:30 下校	23	木	4時間目後下校
14	火	音読朝会 13:30 下校	24	金	修了式（3時間目後下校）
15	水	一斉下校 13:30 下校			

※毎週月曜日は定時退勤日となっています。ご理解ご協力をお願い致します。

【来年度のスタートの授業参観・学級懇談会について】

家庭訪問がなくなり、年度の初めに担任と保護者の方が顔を合わせる機会がなくなりました。そこで、新年度の1回目の学級懇談会にできるだけご参加いただき、お互いが顔合わせをし、学年や学級担任の方針をお伝えすると同時に、お子さんの情報共有ができればと考えています。保護者の皆様と学校がスクラムを組んで子どもたちを育てていければと考えていますので、ご予約の程よろしくお願ひ致します。 ※ 授業参観後、懇談会があります。

《日 程》

4・5・6年	4月19日（水）	参観 13:45～	委員選出・懇談 14:35～
2・3年	4月20日（木）	参観 13:45～	委員選出・懇談 14:35～
すぎのこ	4月21日（金）	参観 9:35～	委員選出・懇談 10:40～
1年	4月25日（火）	参観 13:45～	委員選出・懇談 14:35～

子どものすこやかな成長に欠かせない土台

規則正しい生活

- ・早寝早起きの習慣を！
- ・偏りのない食事（朝ごはんは必ず摂るなど）
- ・仕事（係）等を通して、見通しの力を！

本物を感じる（実体験）

- ・五感を使って、まわりを知っていくこと

【校内にある樹木について】

今年度、3年生の環境体験学習の一環として、校内にある36種の樹木にQRコード付きの表示を取り付けました。ご来校の際はお持ちの携帯端末等で、QRコードを読み取っていただけたいと思います。



※ 子どもたちの持っているタブレットでも読めます。ただ、Wi-Fi環境の関係で、校舎から離れている樹木については読み取れないものもあります。今後環境整備を検討していきたいと考えています。

自分の小学校卒業文集に、夢は一流のプロ野球選手になること、そのために今がんばっていること、今後はこんな風にならなりたいと書いた元メジャーリーガー「イチロー」選手。偉業を成し遂げた後の『努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。』という言葉。将来なりたい自分を想像して、それに向けて今を生きる。少しずつの積み重ね、努力することの大切さを教えてください。

（教頭 山田雅行）